

令和5年度第1回福岡市総合図書館運営審議会 議事録

- 1 日 時：令和5年10月12日（木）15：00～16：30
- 2 場 所：福岡市総合図書館 3階 第1会議室
- 3 出席者：委 員）渡邊由紀子、中島佳江、西木友世、上村篤子、増田亜希子、西聡子  
 矢崎美香、添島郁孝、脇山真治、矢島啓子、安永行政（計11名）  
 事務局）立石総館長、松崎館長、中村運営課長、中村図書サービス課長、  
 高巣文学・映像課長 他  
 傍聴人）1名

4 議事録

1. 開 会  
 総館長挨拶

2. 議 事

(1) 議題 令和4年度事業報告について

委員	<p>図書返却ポストについては、13から14ヶ所に変遷していると承知しているが、最終的に何ヶ所ほど設置する予定か目標数値を伺いたい</p> <p>映像資料部門で実施している館外の上映については、積極的に貸し出され非常にいいことだと思う。</p> <p>ブルーレイを作成して上映会を実施したとのことだが、ブルーレイを希望する公民館に貸し出されるのか、担当者が現地に行き上映に立ち会うのか伺いたい。</p> <p>財源確保に係る事業に駐車場有料開放事業がある。後期事業計画にも新たな財源確保の検討があったが、新たな財源確保の検討はなされたか。</p>
事務局	<p>1点目の返却ポストの目標数値について資料の一覧表は返却ポストだが、図書館の新ビジョンでは返却拠点数とし、本館、分館、アミカス、科学館等も含め、全体で最終的には27地点を目標に整備するとしているが、現在は25地点となっており、2地点満たない状態のため、目標達成に向け努力している状況である。</p>
事務局	<p>館外上映事業については二つの区分がある。一つが福岡市内の公民館上映であり、図書館の主催事業或いは図書館と公民館が共同事業として、図書館から職員が出向き映画の解説を行った上でブルーレイで上映するというものである。</p> <p>もう一つが福岡市外への貸し出しであり、福岡市内外の文化団体や美術館等が上映会を行う場合にブルーレイを貸し出すものである。この場合は、主催者に対して、図書館は素材・コンテンツのみを提供するというものである。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、駐車場運営は現状を維持するもので、新たな方策を打ち出すことができる事業ではない。運営をするだけでも困難な状況もあるため、甘目の評価になった。</p> <p>新しい財源の検討は以前から指摘を受けている。かねてより課題となっているホームページのバナー広告について、財政局と共同し、一括して受けもらえる企業を探していたが、成果には至っていない状況である。</p> <p>財源確保について、継続した努力が必要と認識しているが、困難な状態である。</p>

委員	<p>映像フィルム収集では、47本の寄贈があっておりありがたいと思うが、購入する予算はないのか。</p> <p>アジア映画を中心とした日本でも素晴らしい図書館事業だと考えているので、当事業の充実を鑑み新しいフィルム収集の予算化の状況を伺いたい。</p>
事務局	<p>アジア映画の購入予算は開館以来一定の購入費がついていたが、4年ほど前に財政局と議論が行われ、今後、福岡市としてはアジア映画購入費はつけない旨の方針を決定した。</p> <p>理由としては、総合図書館がアーカイブ施設としてかなり定着しているの、こちらに収蔵を希望をされる側を募ることで対応できるのではないかとということだ。</p> <p>それからメディアの形が、フィルムからデータになったことで、寄贈そのものにかかる物件費の考え方も変わった。もちろん、コンテンツ・著作物の寄贈という意味合いは、大変重要なものである。</p>
委員	<p>見学・視察等受入事業について、今後コロナ禍も開け、バックヤードツアーにおいて、小学生の見学受入だけでなく、もう少し年齢層が上を対象としたツアーの検討はないか。ヤングアダルトのところでは伸び悩んでいる評価を見たので、小学校より上のティーンエイジャーや社会人を対象とした実施を検討していないのか。</p> <p>また、去年から今年度までシネラの上映は面白かった。テーマが絞られており、多岐に富んでおり、三国連太郎さんの上映などは友人も楽しみにしていた。</p> <p>企画が豊富にされてることは面白いが、シネラ実行委員会がどのようなメンバーの方で構成されているのか、企画をどのように決定しているか伺いたい。</p>
事務局	<p>見学・視察等受入事業については、昨年度までコロナ禍もあり、展開が困難な状況だったが、その中でいくつかの学校からの参加があった。</p> <p>本年度は小学校や中学校からの希望に応じて、施設見学会や、中学校の職場体験を実施している。</p>
事務局	<p>去年は実施しなかったバックヤードツアーについても、今年度は実施する方向であり、幅広い年齢層を対象に実施するように考えている。</p> <p>シネラの上映については二つのカテゴリがあり、一つは図書館で収蔵してる映画をテーマを組んで上映するもの、もう一つが外部からレンタルでフィルムを借りて上映するものである。</p> <p>令和4年度まではコロナ禍の影響で座席数を120席と半分に絞って上映した。</p> <p>そうすると、120人以上を集めてしまうような映画は上映しづらく、少しテーマを絞り、人数は多くは集まらないが、ある程度興味を引くテーマを組んでいた。</p> <p>5年度からは座席数の制限を外し、人気のある映画の上映も企画するようにした。</p> <p>シネラ実行委員会のメンバーは、映画監督や配給に関わる方、地元の映画館の代表、映画の研究者、評論家、マスコミ関係者等である。特に上映企画に強い方を集めたプログラム部会で、事務局の原案を元に議論していただき、プログラムを編成していく形になっている。</p>

委員	映像の件だが、ビデオ等所蔵状況で、直近の数年間6200本の所有が、令和4年度に減少し5679本となっているが、減少の理由伺いたい。
事務局	令和4年度については、劣化が著しいビデオテープを整理し、多数を廃棄した。
委員	情報発信事業についてだが、先日、テレビに職員が出演され図書館をアピールしている番組を見た。このようにマスコミやテレビなどに出演された実績は事業報告としてあがるものなのか。
事務局	テレビ番組について、RKBから企業の取り組みを紹介する番組で、図書館運営の裏側を紹介したいという意向を受けて実現した。 これまでもイベント等で図書館がテレビに取り上げられたことはあったが、今回のように特集として図書館の内部をアピールする番組は初めてと思う。 来年度の運営審議会で、今般のテレビ取材の件は報告したいと考えている。 また、本日、番組ホームページに当放送の内容が掲出されていると伺っている。委員の皆様にも見ていただきたい。
委員	テレビ局のホームページ掲載の情報は、図書館のSNSでも宣伝すると効果的だと思う。
事務局	令和4年度の実績では、テレビをはじめマスコミでの報道はイベント等の告知を含め18件ほどあり、うち2件がテレビである。また、図書館で所蔵する収蔵品に関する報道は10件ほどあり、うち4件がテレビである。
委員	対外的な広報実績は今後も報告していただきたい。
委員	非常に多くの取り組みをされており、職員の負担も大きいと思う。 これらのイベントの効果として、貸出数や来館者数の増加の数値を伺いたい。多くのイベントに対する成果が見えた方が良いと考える。
事務局	総合図書館に関するYouTubeの動画を作成してあるが、現状及び1年間で制作された動画を報告されてはいかがか。 イベントは、まずは図書館に来ていただく目的で実施しており、来館者数には反映されていると考えているが、貸出冊数へどう結びついているかは不明である。 入館者数は減少の傾向があったため、イベントにより来館してもらい図書館の認知度を高める試みは重要と考えるが、効果の見極めが今後の課題と考えている。 図書館ホームページにYouTubeを視聴可能なサイトがあり、現在、10点ほどのコンテンツを視聴できるが、これについてもPRしたいと思う。動画制作の状況について、報告書への記載方法については今後検討していく。「令和4年度刊行物一覧」のような形で報告することになると思う。

(2) 報告 令和4年度福岡市総合図書館の運営に関する評価について

委員	<p>&lt; 13 子どもの貸出カード作成推進 &gt;</p> <p>子どもの貸出カードがなかなか増加しないことがB評価が続いている理由と思う。子どもたちの来館数が増える取り組みを実施していただきたい。</p> <p>&lt; 25 情報発信の推進 &gt;</p> <p>博物館において黒田展示会が開催されているが、隣接する図書館との連携が見ら</p>
----	---

<p>事務局</p>	<p>れない。図書館2階の郷土資料室で地元の黒田の歴史を扱っているが、ここを訪れる者は非常に少ない。博物館で黒田関連の事業が実施される時に、図書館でも1階にPRできるコーナーを設置していただきたい。</p> <p>子どもの貸出カードについては、当初、学校で登録してもらおう方法で始まったが、学校での個人情報の取り扱い等で困難な状況となっている。</p> <p>現在は、図書館への見学時にカード作成を勧めたり、小学生読書リーダー養成講座でカード作成をPRする等、機会をとらえカード作成を働きかけている。</p> <p>子どもに本を読んでもらうことが重要と思っており、さらにいろんな場面での作成推進を検討している。</p> <p>博物館や美術館などの市の施設との連携については、昨年度までは不十分と感じていたが、今年は連携事業を積極的に展開しており、1階入口付近に連携展示の紹介コーナーを設け、掲示物や関連書籍を展示するなどに努めている。</p> <p>今年度は、博物館のジブリ展や動植物園、世界水泳との連携など積極的に進めている。</p>
<p>事務局</p>	<p>黒田の展示については、2階の奥の方の郷土特別資料室で小規模に展示しており、博物館の企画の効果での来館を期待する程度の状況である。</p> <p>エントランスの右手に連携展示のコーナーを設けたので、郷土だけでなくポピュラー部門の黒田を扱った図書や関連資料も展開できれば望ましい。今後、意見を参考にし、郷土部門以外の部門とも協力しつつ検討したい。</p>
<p>事務局</p>	<p>広報面では、総合図書館のSNSで博物館との連携企画について取り上げ、郷土特別資料室への来場を案内している。</p>
<p>委員</p>	<p>&lt;9 団体貸出先の拡大&gt;</p> <p>計画に登録団体数増加に向けて取り組むとあり、計画どおり増加しているが、評価はBとなっている。</p> <p>理由は配本数の減少とあるが、計画には配本数は指標となっていない。</p> <p>公民館の登録が4館増えたが、公民館全体の半数でしかないのでB評価であるということならば理解できる。</p> <p>&lt;14 ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化&gt;</p> <p>資料によると、計画通りに実施されたと伺える。計画には図書館利用の促進につなげるのみ記述されており、図書カードの登録者を増やすことは記述されていない。よって、当評価はAと考える。</p> <p>&lt;22 図書館ボランティアとの共働の推進&gt;</p> <p>内部評価にコロナ前との比較が記述されているが、令和4年度の計画には活動時間をコロナ前より増やすとは記述されていない。令和4年度の計画に対する評価であるので、コロナ前との比較は評価の対象ではないと思う。</p> <p>&lt;23 職員の育成及び技術向上&gt;</p> <p>内部評価の記述ではA評価と考える。参加可能な範囲で専門研修派遣を行ったとあり、可能な範囲で実施できたのであればA評価と思う。</p>

事務局	<p>「団体貸出先の拡大」については、令和4年度の計画は達成した旨の記述としているが、「総合図書館新ビジョン事業計画及び成果指標」に配本冊数の目標数値があり、現状は目標値に達しておらずB評価としている。令和4年度計画の記述の方法には課題があると考ええる。</p> <p>「ヤングアダルト層への働きかけの強化」については、令和4年度計画どおりにヤングアダルト層に対し読書を普及するための働きかけを実施したが、明確な効果としてカードの登録や貸し出し冊数の増加に繋がっていないところもありB評価とした。同じく令和4年度計画の記述の方法には課題があると考ええる。</p>
事務局	<p>「図書館ボランティアとの共働の推進」については、委員の指摘どおりコロナ禍前との比較は令和4年度計画には記述されていないが、「総合図書館新ビジョン事業計画及び成果指標」にボランティアの活動時間の目標値を2023年度5,000時間と設定している。前年度実績の状況は、目標値の達成に向けて困難な状況のためB評価としている。</p> <p>「職員の育成及び技術向上」については、参加可能な範囲で研修への参画を実施したが、東京の図書館協会などが主催する新たな研修メニューへの派遣は実施していないためB評価としている。</p>

3. 閉会  
館長挨拶